



書館と県民の
つどい埼玉
2025
記録集



2025年12月14日（日）

桶川市民ホール・さいたま文学館

埼玉県図書館協会

はじめに

「図書館と県民のつどい埼玉」は、皆様に「本に興味を持っていただきたい」、「図書館について知っていただきたい」という思いから始まった県内最大級の図書館イベントです。図書館関係者といらっしゃった多くの皆様がつどい交流する場として、2007年度から毎年開催しています。

数えること19回目となった今回は、2025年12月14日（日）に桶川市民ホール・さいたま文学館を舞台に開催しました。「中学生のビブリオバトル」や専門的な知識を学ぶ各種講座、県内の公共・高校・大学図書館等による展示・体験コーナーや会場を巡る「謎解き」など、本や図書館に関わる盛りだくさんのイベントを実施し、延べ1,121人の皆様にご参加いただきました。

本冊子では、「図書館と県民のつどい埼玉 2025」の様子を紹介いたします。

■ 中学生のビブリオバトル	1～2
■ こども読書活動交流集会	3～7
● わらべうた実践講座【講師：吉田優子氏・平田潤子氏（にこにこ文庫）】	
● 学校図書館講座【講師：吉井嘉奈子氏、事例発表：村上勅江氏】	
● こどもの本のひろば	
■ 展示・体験コーナー等	
● 公共図書館部会	8～11
ブックケア＝未来へつなげる保存の技術＝（展示）	
ブックケア＝未来へつなげる保存の技術＝（補修講座）	
読書のバリアフリー資料展～広がれ！読書の多様性～	
謎の手紙と失われた思い出～謎解き in 図書館と県民のつどい埼玉 2025～	
● 「プチホール」内の展示見取図	12
● 高校図書館部会による展示	13～15
高校図書館 展示ツアー	
A4用紙で立体オーナメントをつくろう	
数字で見る高校図書館 2025	
記憶と記録に残したい学校図書館	
埼玉県の高校図書館司書が選んだイチオシ本 2024	
巨大ポップアップポップ	
● S A L A加盟図書館所蔵資料展示会	16～17
■ 協賛・特別協力	18
■ 関係者名簿	19～20
■ 開催要項	21～22



図書館と県民のつどい埼玉

2025.12.14 (日) 11:00~16:00

桶川市民ホール・さいたま文学館

いずれも参加無料、県内最大級の図書館イベント!!



子ども読書活動交流集会

子どもと一緒に楽しんで!

こどもの本のひろば

申込不要!

11:00-16:00

おすすめの絵本の展示

子どもたちに読んであげたい
おすすめの絵本を展示します。
お子さんと一緒に
手に取って読んでみてください。

工作会

簡単に作ることができる工作を
お楽しみいただけます。
入退場自由なので、
お気軽にお立ち寄りください。

公共図書館

謎の手紙と失われた思い出

～読書in図書館と県民のつどい埼玉2025～
手紙の送り主がなくなってしまう思い出は
いったい何だったのか?
暗号やパズルのような謎を解いて探します。

高校図書館

A4用紙で立体オーナメントをつくろう

切って貼って広げて簡単にできる製作体験。高校図書館で実際に行っているコーナー展示。

埼玉県図書館協会(埼玉県立熊谷図書館内)
お問合せ TEL:048-523-6291 MAIL:k2362911@pref.saitama.lg.jp
【往復はがき送付先】〒346-8506 久喜市下早見85-5 埼玉県立久喜図書館「つどい」係

主催/埼玉県図書館協会、埼玉県教育委員会、埼玉県学校図書館協議会、埼玉県高等学校図書館研究会 共催/さいたま文学館
後援/桶川市、桶川市教育委員会、NHKさいたま放送局、FM NACK5、テレビ玉、公益財団法人日本教育公務員弘済会埼玉支部
埼玉県大学・短期大学図書館協議会(SALU)、埼玉県書店商業組合、一般財団法人出版文化産業振興財団(JPIC)、公益財団法人文字・活字文化推進機構
協力/公益財団法人日本教育公務員弘済会埼玉支部助成事業、埼玉県芸術文化祭2025協賛事業
協賛/株式会社伊藤伊、キハタ株式会社、埼玉新聞社、社会福祉法人埼玉福祉会、一般社団法人YA出版会、株式会社プロブタ

中学生の ビブリオバトル決勝

観戦は
申込不要!

13:30-14:30

中学生の熱き書評ゲームバトルを
ぜひご覧ください!

展示・体験さまざま! 図書館企画

11:00-16:00

各会場をまわる
謎解きも...!

図書館講座

ご興味に応じた専門講義

13:30-15:30

子ども読書活動交流集会

図書館ボランティアのほか
幼稚園・保育園関係の方も

① わらべうた実践講座

「おはなし会でわらべうたを!
～乳幼児から小学生に～」
講師:吉田優子氏・平田潤子氏
(にこにこ文庫)

おはなし会で活用できる
わらべうたを実践を交えながら
学ぶ講座です。

※要事前申込・抽選
(定員30名)

小学校・中学校
特別支援学校関係者の方へ

② 学校図書館講座

「多様な子どもたちへの読書支援
～特別支援学級での取り組みを中心に～」

講師:吉井嘉奈子氏
(東京都立多摩図書館司書)
事例発表:村上勲江氏
(元公立小学校教諭)

特別支援学級への読書支援の現状や実際の
取り組みなどをお話いただき、多様化する
子どもたちへの読書支援を考えていきます。

※要事前申込・抽選
(定員30名)

公共図書館

本を大事に使いたい皆さまへ

③ ブックケア

未来へつなげる保存の技術

14:00-15:30 講師:埼玉県立図書館 職員

保存に関するミニ講義と
簡単な修理体験を行います。

※要事前申込・先着
(定員15名)

大学等図書館

所蔵資料展示

図書館活動の紹介

※掲載写真は昨年年度の様子です

詳しいイベントの情報はこちら
<https://www.saiilib.net/tudoj>
2025



図書館と県民のつどい埼玉 2025

2025.12.14 sun 11:00-16:00 会場/桶川市民ホール・さいたま文学館

「図書館と県民のつどい埼玉」は、本に興味を持っていただきたい、図書館について知っていただきたい、という思いから始まりました。県立・市町村・高校・大学等の図書館や、活字文化に関わる団体が協力して開催する県内最大級の図書館イベントです。

年に1度、県内最大級の図書館イベント！

こども読書活動交流集会

こどもの本のひろば

11:00 - 16:00 申込不要・自由観覧

おすすめの本の展示と工作を行います。どなたでも当日参加可能！工作も自由に入退室できます。

わらべうた実践講座

おはなし会でわらべうたを！～乳幼児から小学生に～

13:30 - 15:30 定員 30名

要事前申込 抽選

講師: 吉田優子氏・平田潤子氏(にこにこ文庫)
おはなし会で活用できるわらべうたを実践を交えながら学ぶ講座です。
※事前課題があります

学校図書館講座

多様な子どもたちへの読書支援
～特別支援学級での取り組みを中心に～

13:30 - 15:30 定員 30名

要事前申込 抽選

講師: 吉井嘉奈子氏(東京都立多摩図書館司書)
事例発表: 村上勲江氏(元公立小学校教諭)
主に小・中学校に設置されている特別支援学級への読書支援の現状や実際の取り組みなどをお話しいただき、ますます多様化する子どもたちへの読書支援を考えていきます。

申込方法(わらべうた実践講座、学校図書館講座)

○ WEB

下記のページからお申し込みください。
<https://www.sailib.net/tudo2025>

○ 往復はがき

以下の内容を明記の上お送りください。

- ①申込講座名
- ②参加者の氏名(1枚につき1名まで)
- ③代表者の住所・電話番号
【送付先】〒346-8506 久喜市下早見85-5
埼玉県立久喜図書館「つどい」係

申込期間

10月3日(金)～11月12日(水)まで、抽選

※抽選結果は11月中旬以降に御連絡します



↑わらべうた実践講座申込



↑学校図書館講座申込

会場詳細

会場

桶川市民ホール・
さいたま文学館
(桶川市若宮1-5-9)

アクセス方法

JR高崎線 桶川駅西口より
徒歩5分

駐車場のご利用について

有料

※お教に限りがあります。
なるべく公共交通機関を
お使いください。



★車で会場の場合は、
あかしや通りから入ります。

中学生のビブリオバトル 決勝

13:30 - 14:30 定員 150名 観戦は申込不要

中学生がおすすめ本の魅力を語ります。午前の予選を勝ち抜いた皆さんによる、熱きバトルを観戦してみませんか？会場の投票で「チャンプ本」が決定します。

展示・体験さまざま！図書館企画

11:00 - 16:00 申込不要・自由観覧

高校図書館

- 高校図書館 展示ツアー
- A4用紙で立体オーナメントをつくる
- 数字で見る高校図書館2025
- 埼玉県の高校図書館司書が選んだイチオシ本2024
- 記憶と記録に残したい学校図書館

大学図書館

- SALA加盟図書館所蔵資料展示会
国際学院埼玉短期大学附属図書館、国立女性教育会館、
山村学園短期大学図書館

公共図書館

- 謎の手紙と失われた思い出
～謎解きin図書館と県民のつどい埼玉2025～
- ブックケア(展示・体験) 未来へつながる保存の技術
- 読書のバリアフリー資料展～広がり！読書の多様性～

ブックケア(講座) 未来へつながる保存の技術

14:00 - 15:30 定員 15名

要事前申込 先着

保存に関するミニ講義と簡単な修理体験を行います。
体験ブースより本格的に学びたい方へ

申込方法(ブックケア(講座))

○ WEB

下記のページからお申し込みください。
<https://www.sailib.net/tudo2025>

○ 電話

埼玉県立久喜図書館 図書資料保存委員会
TEL:0480-21-2659

申込期間

11月1日(土)～定員に達するまで(先着順)



↑ブックケア(講座)申込

公式SNS 最新情報はここから

Xアカウント

@spla_tudo



Instagramアカウント

spla_tudo



※内容は予告なく変更になる場合がございます。予めご了承ください。

ビブリアバトル実行委員会

中学生のビブリアバトル

県内の中学生を対象に、ビブリアバトルを実施しました。「図書館と県民のつどい埼玉」では2014年度から開催されています。

11回目の開催となる今年は、各校2名以内で参加を募り、開催しました。

■ビブリアバトルとは

「ビブリアバトル」とは、おすすめの本を持ち寄って5分間で本を紹介し、一番読みたくなった本「チャンプ本」を、参加者の投票で決定するという書評ゲームです。

レジュメはなし、プレゼン資料もなし。本と自分の身だけでお気に入りの本の魅力を伝えるゲームは、図書館だけではなく、学校や企業等でも広く行われています。

■予選会の様子

予選会は、午前中に、県内15の中学校から25名のバトル（発表者）が参加して実施されました。5グループに分かれて発表を行い、それぞれのグループで「チャンプ本」を紹介した5名が決勝に進みました。

■決勝の様子

決勝は、同日午後の文学ホールにて、一般参加者も見守るなか実施しました。質問タイムでは参加者から質問が相次ぎ、盛り上がりが見られました。

接戦の中、川口市立高等学校附属中学校の松浦 穂乙香さんが紹介した『二人一組になってください』が見事チャンプ本に選ばれました。

結びとなりましたが、参加生徒と保護者の皆様、引率いただいた先生方、開催に御協力・御尽力頂いた皆様に御礼を申し上げます。

（記録：三郷市立彦糸中学校 滝沢 慎）



決勝戦会場の様子

予選会を勝ち抜いた「チャンプ本」

（書名五十音順）

『あいては人か
話を通じないときワニかもしれません』
レーナ・スコークホルム/著
御船 由美子/訳（サンマーク出版）
紹介：依田 朋樹さん
（熊谷市立別府中学校）

『十戒』
夕木 春央/著（講談社）
紹介：阪本 橙子さん
（春日部共栄中学校）

『13歳の少女が見た沖縄戦』
安田 未知子/著（WAVE出版）
紹介：金井 結菜さん
（さいたま市立美園南中学校）

『そして、バトンは渡された』
瀬尾 まいこ/著（文藝春秋）
紹介：山内 都瑚さん
（さいたま市立田島中学校）

『二人一組になってください』
木爾 チレン/著（双葉社）
紹介：松浦 穂乙香さん
（川口市立高等学校附属中学校）

予選会の紹介本一覧（決勝に進んだ本を除く）

『生きとし生けるもの』
北川 悦吏子/著（文藝春秋）
紹介：入野 太心さん
（川口市立高等学校附属中学校）

『きみのお金は誰のため』
田内 学/著（東洋経済新報社）
紹介：泉水 沙羅さん
（埼玉大学教育学部附属中学校）

『キラキラネームが多すぎる』
黒川 慈雨/著（宝島社）
紹介：松本 珠凜さん（熊谷市立別府中学校）

『傲慢と善良』
辻村 深月/著（朝日新聞出版）
紹介：小林 愛菜さん（三郷市立早稲田中学校）

『笹森くんのスカート』
神戸 遥真/著（講談社）
紹介：高橋 夏帆さん（武南中学校）

『時給三〇〇円の死神』
藤まる/著（双葉社）
紹介：武田 飛穂さん（川越市立芳野中学校）

『「真」犯人』
石持 浅海/著（祥伝社）
紹介：中島 姫咲さん（春日部共栄中学校）

『夏の庭 The friends』
湯本 香樹実/著
（福武書店）（新潮社）（徳間書店）
紹介：石塚 しいさん（三郷市立早稲田中学校）

『人魚が逃げた』
青山 美智子/著（PHP 研究所）
紹介：魚住 陽花さん（志木市立宗岡第二中学校）

『方舟』
夕木 春央/著（講談社）
紹介：横内 里咲さん（さいたま市立田島中学校）

『ハリー・ポッターと賢者の石』
J. K. ローリング/著
松岡 佑子/訳（静山社）
紹介：板橋 璃子さん
（さいたま市立大宮国際中等教育学校）

『人喰い鬼の花嫁』
綾里 けいし/著（講談社）
紹介：中村 光里さん（草加市立谷塚中学校）

『僕らの未来が変わるお金と生き方の教室』
池上 彰/監修（Gakken）
紹介：石崎 優佳さん（草加市立谷塚中学校）

『本好きの下剋上』
香月 美夜/著（TO ブックス）
紹介：高柳 真由子さん
（埼玉大学教育学部附属中学校）

『本を読んだことがない32歳がはじめて本を読む』
かまど、みくのしん/著（大和書房）
紹介：長澤 大介さん（さいたま市立美園南中学校）

『ムゲンのi』
知念 実希人/著（双葉社）
紹介：扇谷 信さん（栄東中学校）

『夜のピクニック』
恩田 陸/著（新潮社）
紹介：山本 琉介さん（武南中学校）

『落花』
澤田 瞳子/著（中央公論新社）
紹介：皆上 和摩さん（栄東中学校）

『リカバリー・カバヒコ』
青山 美智子/著（光文社）
紹介：久保田 結葵さん（志木市立志木中学校）

『六人の嘘つきな大学生』
浅倉 秋成/著（KADOKAWA）
紹介：上杉 琴乃さん（久喜市立栗橋西中学校）



予選会集合写真

こども読書活動交流集会

わらべうた実践講座
おはなし会でわらべうたを！
～乳幼児から小学生に～

講師：吉田 優子 氏・平田 潤子 氏
(にこにこ文庫)

吉田さんと平田さんは、さいたま市東浦和公民館にボランティア団体「にこにこ文庫」を開設し、わらべうたや絵本を楽しむ会を長年開催されています。本講座では、おはなし会に取り入れられるわらべうたについて、実演を交えながらお話いただきました。

■乳幼児向けおはなし会について

事前課題の指定図書『乳幼児おはなし会とわらべうた』(落合美知子著 児童図書館研究会 2017)より、わらべうたを取り入れた乳幼児向けおはなし会で大切にしたいことを4点紹介します。①定型発達に当てはまっているかどうかには捉われないこと。②くり返しと継続。乳幼児はくり返しによって成長します。③子どもへのまなざし。子どもたちひとりひとりの変化をあたためまなざしで見守ります。「くり返しと継続」という点においても、おはなし会は同じメンバーで担当することが望ましいです。④型があること。おはなし会のプログラムは、子どもの成長にあわせて決まった型をつくり、継続してその型を用いたほうが子どもは安心して参加できます。

■0～3歳の子どもと保護者を対象にしたおはなし会プログラムの紹介

「子育てサロン ぴよぴよ わらべうたと絵本を楽しむ親と子のつどい」として、0～3歳の親子を対象に、わらべうたや手遊び、絵本を楽しむ乳幼児向けの会を行っています。実際に8月に行ったプログラムを、参加者の

皆さんと一緒に実践しながら紹介します。

- ♪「ととけっこー」
- ♪「このここのこ」
- ♪「おちよず」
- ♪「ゆすらんかすらん」
- ♪「こりやどこのじぞうさん」
- ♪「このここのこ」
- ♪「イイコ」

絵本『ペンぎんたいそう』(齋藤慎さく 福音館書店 2016)

雑誌『こどものとも0・1・2 2024年5月号 はしるよでんしゃ』(福音館書店 2024.5)

絵本『ねんね』(さえぐさひろこ文 アリス館 2004)

- ♪「どうだほしや」

「ととけっこー」や「このここのこ」などは、歌詞の一部を参加している子どもとその保護者の名前に置き換えて歌っています。

乳幼児向けのおはなし会では、まずわらべうたをまとめて行い、その後に読み聞かせを行うようにしています。最初に子どもたちが満足するまでわらべうたを楽しむことで、その後の絵本の読み聞かせも集中して聞いてくれます。また、顔は大切な場所のため、他人が積極的に触れるのは好ましくないと考え、顔あそびは取り入れていません。

会の最後は、季節の歌か子守歌で終わるようにしています。

■0～2歳児の小規模保育園でのおはなし会プログラムの紹介

保育園でもおはなし会をしています。5月に実際に行ったプログラムを実演します。

- ♪「ころころ ころころ」
- ♪「チュチュココ」
- ♪「カクカクカクレンボ」
- ♪「おちよず」

雑誌『こどものとも0・1・2 2025年5月号 だーれかだーれか』(福音館書店

2025.5)

絵本『がたんごとんがたんごとん』(安西水丸さく 福音館書店 1987)

絵本『てんとうむしぱっ』(中川ひろたか文 奥田高文写真 ブロンズ新社 2009)

♪「やすべえじじいは」

■ 3～5歳児の保育園でのおはなし会プログラムの紹介

月に1回、30分で行っているおはなし会のプログラム例を紹介します。わらべうたは季節や読む絵本にあわせたものを選び、くり返し歌って子どもたちと楽しみます。

(1) 3歳児クラス (10月開催)

♪「どんぐりころちゃん」

絵本『おおきなかぶ』(A. トルストイ再話 内田莉沙子訳 佐藤忠良画 福音館書店 2007)

♪「やまからころころ」

絵本『どんどごどん』(和歌山静子作 福音館書店 2011)

おはなし「にんじんさんとだいこんさんとごぼうさん」

絵本『どろんこハリー』(ジーン・ジオンぶん マーガレット・ブロイ・グレアムえ わたなべしげおやく 福音館書店 1964)



(2) 4歳児クラス (7月開催)

♪「おてぶしてぶし」

絵本『あついあつい』(垂石眞子さく 福音館書店 2019)

雑誌『ちいさなかがくのとも 2009年7月号 はっぱのあな』(福音館書店 2009.7)

♪「ギッタンバッタン」

おはなし「ふしぎなたいこ」

♪「オフネガ」

絵本『ガンピーさんのふなあそび』(ジョン・バーニンガムさく みつよしなつややく ほるぷ出版 1982)

(3) 5歳児クラス (3月開催)

♪「ずくぼんじょ」

絵本『たんぼぼ』(平山和子ぶん・え 福音館書店 1972)

♪「たんぼぼ」

おはなし「みるなのくら」

おはなし「かしこいモリー」

絵本『よかったねネッドくん 改訂版』(レミー・シャーリップさく やぎたよしこやく 偕成社 1997)

■ 幼児から小学生まで楽しめるわらべうた

幅広い年齢に楽しめるものを紹介します。

(1) 季節にあわせたわらべうた

春♪「たけのこめだした」、夏♪「あめだあめだ」、秋♪「とんぼ」、冬♪「コドモカゼノコ」、正月♪「てんやのおもち」♪「ぺったらぺったん」

(2) どの季節でも楽しめるわらべうた

♪「オサラニタマゴニ」、♪「いちじくにんじん」、♪「ポツンポツン」

(3) 高学年へもおすすめのわらべうた

♪「いものにたの」、♪「もつれんな」

■ おわりに

長年の経験に基づく先生方のお話しは、どれもおはなし会の現場で参考になる実践的な内容ばかりでした。参加者全員でわらべうたを歌い楽しみながら学び、有意義で和やかな時間となりました。

(記録：埼玉県立久喜図書館 石関 莉奈)

学校図書館講座 多様な子どもたちへの読書支援 ～特別支援学級での取り組みを中心に～

講師：吉井 嘉奈子 氏
(東京都立多摩図書館 司書)
事例発表：村上 勅江 氏
(元公立小学校教諭)

本講座は、講義と事例発表の2部構成で行いました。講義は、東京都立多摩図書館児童青少年資料担当で司書として勤務されている吉井さんに、東京都立多摩図書館の取組で培った特別支援学級での読み聞かせについてご講義いただきました。事例発表は、埼玉県の公立小学校で長年教諭をされていた村上さんに、特別支援学級担任での取組を発表いただきました。

■講義

「多様な子どもたちへの読書支援
～特別支援学級での取り組みを中心に～」

講師：吉井 嘉奈子 氏
(東京都立多摩図書館 司書)

(1) 『特別支援学校での読み聞かせ』の紹介
東京都立多摩図書館は、2013年に『特別支援学校での読み聞かせ 都立多摩図書館の実践から』を、2024年には増訂版を発行しました。子どもたちが喜んだり、読んで手応えを感じたりした絵本を障害に応じて紹介したほか、絵本の特色や読み聞かせのコツ、プログラム事例を掲載しています。

(2) 子どもは絵本が好き

ある知的特別支援学校で『だごだごころろ』(石黒漢子再話 梶山俊夫再話 梶山俊夫絵 福音館書店 1993)を読み聞かせしたことがありました。ほかの本には興味を示さなかった子どもが食い入るように見ていました。このような経験から、「子どもは絵本が好き」なのだと再認識しました。



(3) おはなし会実施までの流れ

①学校との事前調整

クラスの子どもの一番知っているのは先生です。子どもの障害の程度や理解できる内容、特別な配慮や普段楽しんでいる本、リクエストなどを丁寧に聞き、こちらのできることとできないことを上手に伝えます。

②プログラムを考える

30分程度のプログラムで3、4冊の様々なタイプの絵本を組み合わせます。手遊びなど、読み聞かせ以外をいれることもあります。

③学校との連絡

プログラムや当日の最終調整を行います。

④練習

(4) どのような絵本を選ぶか

集団の子どもたちへの読み聞かせに適した絵本を選びます。対象を意識して、実年齢より易しいもの、子どもの興味をテーマにしたもの、明確な絵、描写のものなどを選びます。

(5) 読み聞かせ7つの手法

- ①努めてゆっくり読む ②寄り添って読む
 - ③一部分を読む ④ダイジェストで読む
 - ⑤読んだことを体験する
 - ⑥クイズをしながら読む ⑦繰り返して読む
- (6) 知的障害・肢体不自由の子どもたちへの読み聞かせ

次の7点を意識して取り入れています。

①音や言葉のリズムを楽しむ本

『もこもこ』(谷川俊太郎作 元永定正絵 文研出版 1977) など。

②やりとりを楽しむ本

③繰り返しを楽しむ本

④創作物語絵本

こどもの本のひろば

「こどもの本のひろば」は、「おすすめの本の展示」と「工作」を実施しました。子どもだけではなく、大人の方もたくさん参加してくださいました。

■おすすめの本の展示

0歳から小学校入学前の子どもたちに読んであげたい絵本を紹介した冊子「埼玉県立図書館司書がすすめるっておきのえほん100冊—親子のふれあいえほんばこ」の中から約50冊の絵本を展示しました。

お子さんの中には、「保育園にある！」と言って、何冊も手に取って楽しそうに読んでいた子がいました。また、大人の方からは、「懐かしい」「子どもの時に読んだことがある」といった声が寄せられました。

会場では、この冊子の他に、「埼玉県立図書館司書のっておきのえほんふれあいノート」や「埼玉県立図書館司書がおすすめするこどもの本ベスト100」なども配布し、多くの方に手に取っていただきました。



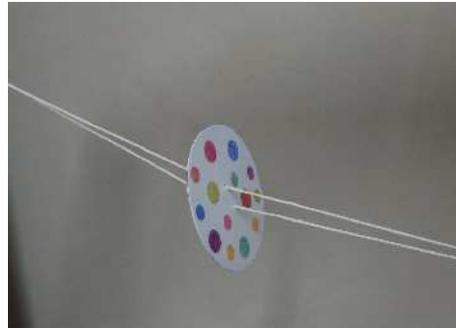
■工作

「桶川子どもの本の会」の皆さんにご協力いただき、どなたでも自由に参加できる工作を行いました。

今回は、牛乳パックとたこ糸を使って「びゅんびゅんごま」を作りました。

四角や丸に切った牛乳パック2枚に、カラーペンで絵を描いたり、シールやマスキング

テープを貼ります。その2枚を貼り合わせ、中心付近に開けた穴にたこ糸を通したら、完成です。



親子連れで参加してくださった方もたくさんおり、お子さんだけでなく、親御さんも一緒に作ってくれました。皆さん、思い思いのこまを作り、完成したこまを回して楽しんでいました。たこ糸を引っ張ったり縮めたりするコツをつかんだ子は、長い間こまを回し続けていました。

関連本として、びゅんびゅんごまの作り方が載っている工作の本や絵本『びゅんびゅんごまがまわったら』（宮川ひろ作 林明子絵 童心社 1982）も展示しました。



■おわりに

2年ぶりに「こどもの本のひろば」として、大人と子どもと一緒に楽しめる場を設けることができたこと、大変嬉しく思います。ご参加くださった皆様、当日の運営にご協力くださった皆様、ありがとうございました。

(記録：埼玉県立久喜図書館 佐藤 綾子)

公共図書館部会

ブックケア ＝未来へつながる保存の技術＝

■はじめに

今年度のブックケアでは、例年の展示に加え、県民向けの講座を別部屋で実施しました。本ページでは、プチホールで行った資料保存に関する展示と体験コーナーについて、当日の様子をご紹介します。



プチホールでは、資料の補修道具・保存に関する展示、2種類の綴じと折丁づくりを体験できるブース、埼玉県立図書館で作成しているチラシ「きほんのき」の配布を行いました。今年度は職員6名がスタッフとして参加し、展示のご案内や体験コーナーの補助を行いました。

■展示



展示コーナーでは、修理に関する道具、様々な綴じ方で修理を行った冊子、簡単な修理方法・本の取り扱い方の注意点をまとめたチラシなど、パネルと現物の展示を行いました。

ご来場いただいた方からは保存・修理に関するご相談やご質問があり、スタッフが質問にお答えしました。

■体験コーナー



平綴じ（四ツ目綴じ）、リンク・ステッチ、折丁づくりの3種を体験できるコーナーを設けました。午後にはブックケア講座を受講した方がたくさん立ち寄ってくださり、順番待ちになる時間帯もありました。

今年も盛況をいただき、平綴じは14名、リンク・ステッチは19名、折丁づくりは11名の方にご体験いただきました。

■「きほんのき」配布

「きほんのき」は、修理の材料や道具、基本的な修理方法について、イラスト付きで分かりやすくまとめた全11種類のチラシです。毎年配布を行っていますが、今年も多くの方にお持ち帰りいただきました。

「きほんのき」は埼玉県立図書館ウェブサイト

(<https://www.lib.pref.saitama.jp/guide/hozon/gizyutu.html>)にも掲載しています。

■おわりに

今年もたくさんの方にお越しいただき、たいへんありがたく思います。ブックケアの展示や体験が、今後資料保存について関心を持っていただける機会となりましたら幸いです。

(記録：埼玉県立久喜図書館 高木 真奈)

ブックケア（補修講座） ＝未来へつながる保存の技術＝

■はじめに

今年度は、「図書館と県民のつどい」の場では初めて、埼玉県立図書館図書資料保存委員会の協力による県民向け補修講座を実施しました。講義と簡単な補修体験をとおして、県立図書館の資料保存に対する姿勢や取り組みを広く知ってもらうことを目的に、前半が講義、後半が実習という2部構成で行いました。

15名定員・事前申込み制という形で実施をしましたが、申込み開始後間もなく定員が埋まってしまい、開催前から関心の高さがうかがえました。最終的には、当日は13名の方にご参加いただきました。

■講義「県立図書館の資料保存について」

はじめに、県立図書館の資料保存について、説明を行いました。埼玉県立図書館における資料保存の方針や取り組み、修理の基礎知識について説明するとともに、県立図書館ウェブサイト内「資料保存 未来へつながる保存の技術」のページから役立つ情報をご紹介します。限られた講座の時間だけでなく、ご自宅に帰ってからも参考にいただける情報を、この機会にたくさんご紹介できたことがとてもよかったと思っています。参加者の方は、時折うなずいたり、メモを取ったりしながら熱心に聞いてくださっていました。



■実習「修理の実際」

実習では、本のページがやぶれた時に和紙を使って補修する方法と、糸綴じ（四ツ目綴じ）を体験していただきました。四ツ目綴じの体験では、県立図書館で作成している修理に関するチラシ「きほんのき」11枚に表紙と裏表紙をつけて綴じてもらい、講座が終わったあともそばに置いて活用してもらえらる冊子を各自で作っていただきました。

実習の最後には、水濡れ資料の処置についての実演を行いました。実演する机の周りにみんなで集まり、水濡れの経験で自身が困ったことなどを参加者みんなでフリートークするような形になり、和気あいあいとした雰囲気の中で研修を終えることができました。



■おわりに

普段なかなか直接お話しすることがない、県立図書館の保存の取り組みについてご紹介することができたのは、大きな成果だと思っています。ご参加くださった皆様、ありがとうございました。

（記録：埼玉県立久喜図書館 吉田 奈緒子）

読書のバリアフリー資料展 ～広がれ！ 読書の可能性～

■はじめに

「バリアフリー資料」あるいは「バリアフリー読書」と聞いて、どのようなイメージが思い浮かぶでしょうか。点字の本？ 音声読み上げ？ いずれも正解ですし、これらの他にも色々あります。読書の形は、目で文字を見て読むだけではないのです。

今回の展示のテーマは「広がれ！ 読書の多様性」です。読書活動にまつわるバリア（＝障害）をなくした、あるいはなくすための資料を展示しました。



■展示の内容

今回の展示では、手指を使い触って読む点字図書や布絵本、耳で聞いて読む音声デージーなどを紹介しました。また、音声と画面が同期していて、耳で聞きながら目でも追えるマルチメディアデージーや、やさしい言葉やピクトグラムを用いて理解しやすいよう工夫されたLLブックなど合計 12 点の資料をご覧いただきました。

さらに、資料そのものだけでなく、デージー再生機「プレクストーク」やマルチメディアデージーが再生できるタブレットなども展示し、ご来場の方に実際に操作していただきました。

ディスレクシアや視覚障害のある方の読書をサポートする「リーディングトラッカー」

はご存知の方が多くいらっしゃった一方で、自作できることをお伝えすると驚かれる場面も多かったです。「これなら今日、すぐにもできそう」「図書委員会で作ってみよう」という前向きなお声をたくさんいただきました。

また、今年は謎解きイベントの中にバリアフリー資料に関する謎が取り入れられたことによって、普段あまり関心をお持ちでない方もブースに立ち寄っていただくことができました。こちらからもお声がけして、各種資料を手にとっていただいたり、興味を持たれた方には実際に点字を打つ体験をしていただいたりしました。

■おわりに

本が読めないのは、読書のスタイルが合っていないだけ。それを当事者ご本人だけでなく、ご家族やご友人、学校の先生といった周囲の方々にも知っていただくことで、支援の輪も読書の可能性も、より一層広まると信じています。

みなさまの周りに、活字による読書に困難をおぼえている方はいらっしゃいませんか？ あれ、と思ったらぜひ図書館にご相談ください。

(記録：埼玉県立久喜図書館 松戸 麗奈)



謎の手紙と失われた思い出 ～謎解き in 図書館と県民の つどい埼玉 2025～

■はじめに

「図書館と県民のつどい埼玉 2025」では、来場者参加型の「謎解きゲーム」を実施しました。本ゲームは、物語に沿って会場内に用意された暗号やパズルのような謎を解き、答えを探しにいきます。「図書館と県民のつどい埼玉」において初の試みでしたが、お子さんから大人まで多くの方にご参加いただき、盛況に終わりました。

■謎解きゲームについて

今回実施したのは、「謎の手紙と失われた思い出」と題した、物語仕立ての謎解きゲームです。想定所要時間は、30分から1時間程度、中学生以上を対象としました。

会場の1階と2階を使用し、参加者は渡された手紙と謎解き問題、地図を手にて会場内を巡りました。謎解き問題に行き詰ってしまった時のために、ギャラリー2のスペースにヒント集を用意し、机とイスも設置しました。

■当日の様子

- ・予想を上回る人気でした。
- ・謎解き問題の対象は、中学生以上としましたが、ご家族と一緒に小さなお子さんも参加していました。
- ・友人同士で挑戦する姿も見えました。問題に苦戦しつつも、グループ内で話し合いながら、皆さん熱心に取り組まれていました。
- ・謎を解くためには、チェックポイントに行ったり、展示を見たりする必要がありました。そのため、会場内の様々なエリアにも多くの方に足を運んで頂くことができました。
- ・謎解きのアイテムとして、目録ケースを使用しました。現在は使われていませんが、懐かしさから興味をもたれる方や実際に図書館

で使用していたものの存在を知っていただく良い機会になったと思います。



■実際の謎に挑戦！

当日、実際に使用した謎を参考までに一つご紹介します。この機会に謎解きの問題に、是非チャレンジしてみてください。答えは、この記録集のどこかに隠れています。



ヒント) 上の3つの文字は、それぞれ赤い字で「嘘」、黒い字で「噂」、青い字で「春」と書かれている。

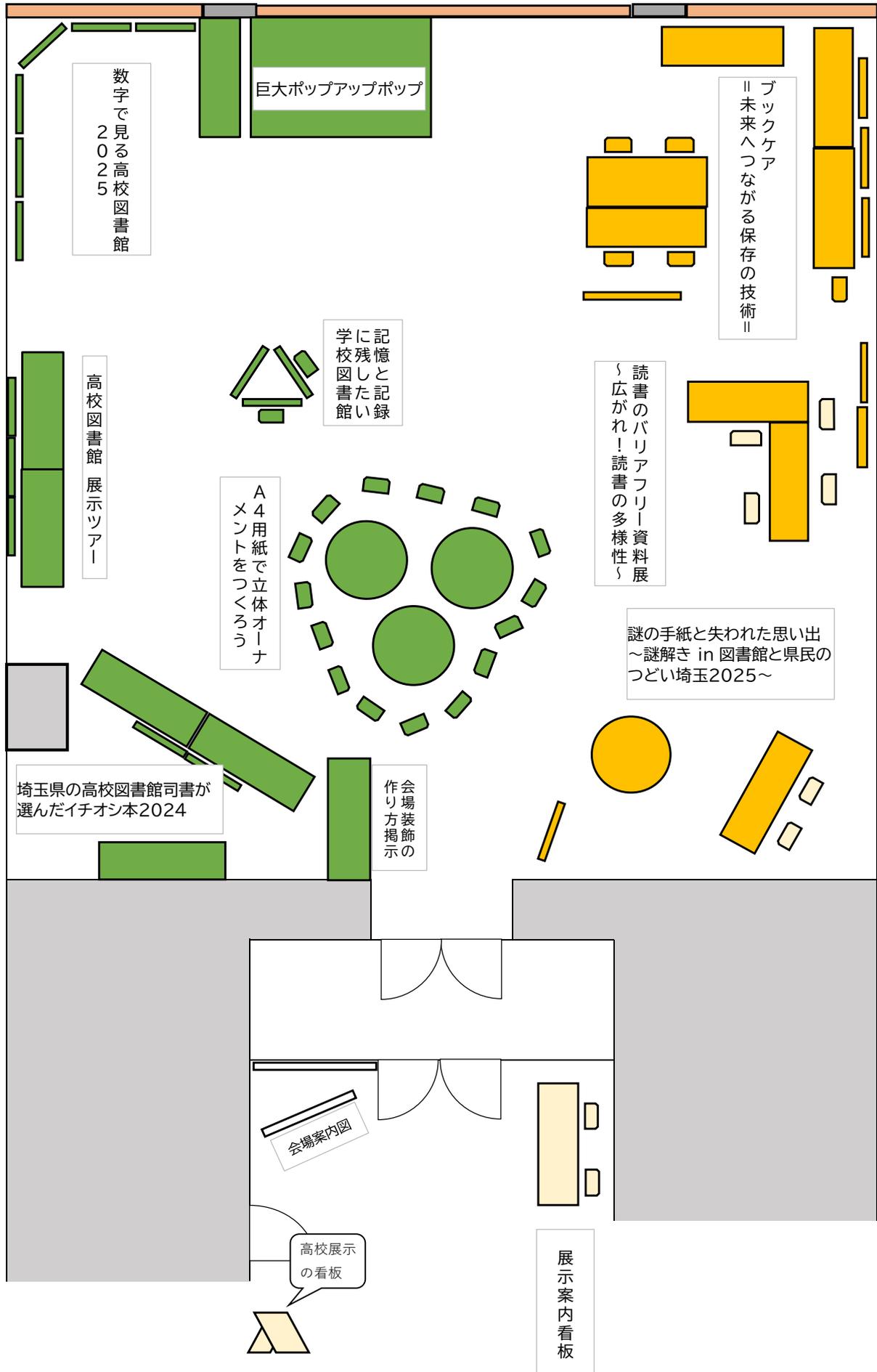
■さいごに

謎解きゲームによって、楽しみながら展示をご覧いただき、館内を巡っていただくことができたと思います。

ご参加いただいた皆様、運営にご協力いただいた職員に感謝申し上げます。ありがとうございました。

(記録:埼玉県立熊谷図書館 鈴木 絵理奈)

「プチホール」内の展示見取図



高校図書館部会による展示

のぞいてみよう高校図書館

■実行委員

高校図書館部会の実行委員は、地区ネットワークの持ち回りとなって7年目となりました。今年は南部Aネットワーク（大宮・浦和地区）から7名、南部Cネットワーク（上尾・鴻巣地区）から13名が実行委員を担いました。

■企画

前年度からテーマ「のぞいてみよう高校図書館」を引き継ぎ、来場の方に高校図書館を楽しく知っていただける企画を準備しました。

高校図書館 展示ツアー

A4用紙で立体オーナメントをつくろう

数字で見る高校図書館 2025

記憶と記録に残したい学校図書館

埼玉県的高校図書館司書が選んだイチオシ本 2024

ほか、顔出しのできるフォトスポットとして、巨大ポップアップポップを展示しました。

■準備

- ・第1回 7月4日（金）さいたま文学館
他の部会との合同実行委員会の後、高校図書館部会のみで実施。今後の実行委員会スケジュール、係分担、テーマ・テーマカラー等
- ・第2回 10月24日（金）大宮中央高校
各企画の進捗報告や検討・依頼事項、利用備品、購入物品、会場レイアウト等
- ・第3回 11月25日（火）大宮中央高校
午前：展示等作成作業（各企画の必要性と勤務校の状況に応じて集合）
午後：全体討議
各企画の進捗状況、当日の流れ、スタッフシフト、スタッフへの連絡事項等
- ・第4回 1月22日（木） 書面開催

総括、会計報告、記録、次年度体制等

■当日

当日の朝に展示準備や会場装飾を行い、11時から16時に一般公開をいたしました。実行委員20名に、当日スタッフとして10名を加えた30名で、来場者への展示案内、体験企画の説明および補助、誘導等を行いました。雨まじりの天気ではございましたが、高校図書館部会が企画を行ったプチホールでは、延べ457名の皆様にお楽しみいただくことができました。

■各企画について

高校図書館 展示ツアー

南部Aネットワーク内の高校から各校の展示写真を持ち寄りました。「1学期」「2学期」など季節ごとの展示や「授業」「行事」といった高校の様子がわかるテーマ展示の写真24枚を掲示しました。

実際に展示で使用した司書・生徒自作のグッズ（おみくじ、ガチャ）などは来場者の興味関心の的でした。どんな展示をすればいいのか悩んでいる方、展示の幅を広げたい方の参考になれば幸いです。



A4 用紙で立体オーナメントをつくらう

A4 用紙2枚を切って貼って広げることができる立体オーナメントの制作体験企画です。昨年度装飾用に作成したものが好評で作り方を聞かれることがあったため、今年度は体験企画として準備しました。資料として「オーナメントの作り方」「オーナメントテンプレート」を配布し、つどい終了後も各自で制作いただけるようにしました。当日はお子さんから大人まで、多くの方に体験していただくことができました。



記憶と記録に残したい学校図書館

令和7年度末に校舎を閉じる学校の「今しか出会えない」図書館風景を紹介しました。6校の図書館から館内図や館内写真をご提供いただきました。各校の特色が表れた展示を多くの方が興味深くご覧になっていました。中には、思い出や感想をお話しくくださる方もいらっしゃいました。



数字で見る高校図書館 2025

令和6年度版の埼玉県高等学校図書館研究会「高校図書館白書」および「学校基本調査」を基に、高校図書館の現状（利用者数、平均貸出冊数、図書館の予算、司書の人数など）を視覚化した掲示物を作成しました。今年は特別支援学校の図書館紹介に力を入れ、行田特別支援学校から写真を提供していただきました。

埼玉県の高校図書館司書が選んだイチオシ本 2024

1年間の新刊から「高校生におすすめしたい本」の投票を高校司書より募り、ランキングを決定する「イチオシ本」は、2025年版（2026年2月発表）で16回目を迎えました。

ブースでは、全国に広がる「高校司書による推し本企画」の概要がわかるポスターの展

示と 2024 年版ベスト 10 に選出された図書の展示を行いました。また来場者には、2024 年以前のベスト 10 を掲載したパンフレットを配布し、活動についての紹介を行いました。



巨大ポップアップポップ

ポップアップポップとはイラストなどを飛び出させる本の紹介ポップで、埼玉県の高校司書が考案したものです。昨年の「図書館と県民のつどい埼玉」でも展示、体験企画で扱い、盛況をいただきました。

高校生が作ったポップアップポップに加え、今年はフォトスポットにもなる巨大ポップアップポップも展示しました。高さ2.7メートル、幅1.8メートルの大きな展示で、当日は小さなお子さんを中心に写真撮影などで楽しんでいただくことができました。会場で配布したポップアップポップの作り方も好評で、来場者の方にポップアップポップの魅力を伝えることができました。



■おわりに

埼玉県の高校図書館はとても活発で、さまざまな取り組みを展開していますが、校外の方には馴染みがなかったり、学校ごとにまるで異なる特色を持っていたりします。「図書館と県民のつどい埼玉」では、そんな高校図書館の実情や魅力を、多くの方々にお伝えできるよう努めています。

今年はプチホール半分強のスペースをいっぱいに使わせていただき、高校図書館を多様な角度から、楽しく知っていただける企画を盛りだくさんに実施できました。

装飾にも力を入れ、手作りのペーパーフラワーにガーランド、オーナメントが会場内を華やかに彩りました。さらに、昨年反響の多かった立体オーナメントを手作り体験企画にしたり、装飾グッズの作り方も展示したりと、ご来場の方にとって収穫があるよう工夫しました。

手作り体験や巨大ポップアップポップは、お子様にも喜んでいただけたようです。公共図書館部会の謎解き企画の手がかりを探しにお越しになる方も多く、回遊型の企画の効果を実感いたしました。

高校図書館部会のスタッフにとっても、県民の皆様と直接に対話をしたり、他部会の企画に参加したりと、貴重な経験や学びを得る機会となりました。

高校図書館部会の企画にご参加いただいた皆様、また、準備や運営にご協力いただいた皆様に、心よりお礼を申し上げます。ありがとうございました。

(記録：埼玉県立浦和西高校図書館 武川葉月)

大学等図書館

SALA加盟図書館所蔵資料展示会

■国立女性教育会館女性教育情報センター
 <女性アーカイブセンター企画展示および
 女性教育情報センター所蔵資料のご紹介>

国立女性教育会館（NVEC）は男女共同参画社会実現の推進機関として、研修・調査研究や情報・資料の提供に取り組んでいます。館内の「女性教育情報センター」は男女共同参画及び女性・家庭・家族に関する専門図書館として、約15万冊の図書・地方行政資料の他、雑誌・ミニコミ誌4,200タイトル、新聞記事65万件などを所蔵しており、どなたでもご利用いただけます。

今回は、女性アーカイブセンター企画展示「女性関連施設のあゆみ展」を紹介するポスターと、2026年4月「男女共同参画機構」改組を周知するポスターを展示、所蔵資料の紹介、男女共同参画すごろく・SDGsさんかくしおり・所蔵資料の紹介冊子『本、あり図。』の配布を行いました。



【展示資料】

『本当にやる!できる!必ずやる! : アイスランドの「女性の休日」』

リンダ・オウラヴスドットイル作

朱位昌併訳 ゆぎ書房 2025年

『NO!と言えるようになるための絵本』

ドミニク・ドゥ・サン・マルス文 セルジュ・ブロック絵 ; 安發明子訳

ゆまに書房 2025年

『みらいへのつばさをひろげて』

羽尻利門 絵・文

豊岡市多様性推進・ジェンダーギャップ対策課・幼児育成課・コウノトリ共生課 2024年他、全14冊

(記録 : 国立女性教育会館 島田 由貴子)

■山村学園短期大学図書館

<「遊んで学ぶ」を応援する図書館>

今年も、本学で力を入れている「遊び」を通して学ぶことの大切さに主眼を置き、展示を行いました。

本学は、鳩山町の比企丘陵の高台に位置し、図書館の窓から広葉樹林の四季の移ろいを見ることが出来ます。保育者を養成する「子ども学科」を設置しているため、図書館には授業や実習に使用する実用的な資料を多く置いています。



今年の展示は、アレルギーや気になる子の保育について、また手遊び・パネルシアター・ペープサートの作り方、実習日誌の書き方など、実際に多く利用される図書を展示しました。利用が最も多い絵本も、季節の絵本や人気の絵本、大型絵本、仕掛け絵本などを展示し、来場者の方々に興味をもって見ていただきました。

また、図書館の絵本棚などのスペースに設

置している学生の造形作品も展示しました。学生たちは、日頃から学内で手に入る自然の素材を使用して様々な作品を作っています。今回持参したものは、大王松の大きな松ぼっくりで作ったクリスマスツリー、新聞紙とビニールテープで作った動物やお面、手作りの布絵本、フェルトで作ったカスタネットやサイコロなどです。様々な遊びを学んでいる様子がわかる展示となりました。

(記録：山村学園短期大学図書館 品川 今日子)

■国際学院埼玉短期大学

<学生図書委員会 私たちのお気に入り>

昨年度に引き続き、2回目の参加をさせていただきました。栄養士・調理師・保育者を養成する国際学院埼玉短期大学ならではの蔵書を、学生図書委員の視点で選び、保育実習での読み聞かせに役立つ絵本から、病院食のレシピ本や食育雑誌・事典、小説まで、幅広いジャンルの資料をPOPと共に展示し「私たちのお気に入り」としてご紹介しました。

参加した委員長・副委員長は、自分たちが選んだ本を介して、様々な世代の皆様と交流することができました。今回は、書影とPOPの推薦文を掲載したブックリストも作成し、お配りしましたが、他の部会のイベントに参加しながらお配りしたところ、ブックリストを片手に2階のSALA展示会場までお越しくださる方も複数いらっしゃいました。

また、今年度の委員会活動企画で導入したボードゲームを展示し、導入の経緯や選定方法をご紹介しました。企画実施にあたり、昨年の「図書館と県民のつどい2024」で知った、ボードゲーム導入館の複数の事例が大変参考になりました。この場をお借りして御礼を申し上げます。

今回参加した委員長・副委員長は、会場への参加者の呼び込みや委員会活動の説明、また、急遽行ったお子様への読み聞かせ等、貴

重な経験をする事ができ、委員会活動の総括となりました。学生図書委員会機関紙『Koala21号』もたくさんのお褒めの言葉をいただき、励みになりました。今回の経験を、次年度の活動に繋げてまいります。



(記録：国際学院埼玉短期大学附属図書館 谷地 英里)



協賛・特別協力

協賛企業展示

株式会社伊藤伊様に、1階エントランスホールにてご出展いただきました。

パネルや商品のサンプル等の展示のほか、ノベルティの配布も行われました。



【株式会社伊藤伊】
オリジナルミニブックキット



【株式会社ポプラ社】
トートバック



【社会福祉法人埼玉福祉会】
ブックコームフィルム(文庫本用)
ページヘルパー



【一般社団法人YA出版会】
YA 朝の読書ブックガイド
2025年版

協賛品

各企業様から多くの協賛品をご提供いただきました。改めてお礼申し上げます。

提供いただいた協賛品は、中学生のビブリオバトル(予選会・決勝)に出場されたバトラーの皆さんや、来場者の皆様へ記念品として配布しました(紹介順不同)。



【埼玉新聞社】
ビブリオバトル
優勝トロフィー



【キハラ株式会社】
案内ラベルポーチ
図書館じしゃく
リーディング
レコードノート

特別協力

埼玉県立近代美術館・埼玉県立自然の博物館からもオリジナルグッズをご提供いただきました。改めてお礼申し上げます。

提供いただいたグッズは、ビブリオバトルのバトラーの皆さんのほか、謎解きを達成された方に記念品として配布しました。



【埼玉県立近代美術館】
近代美術館収蔵品
「作品解説カード」10枚セット



【埼玉県立自然の博物館】
自然の博物館キャラクターズ
オリジナル缶バッジ

○公共図書館部会

小林 千草 (埼玉県立久喜図書館)	岡戸 裕哉 (埼玉県立文書館)
吉田 奈緒子 (埼玉県立久喜図書館)	福士 明日香 (埼玉県立久喜図書館)
吉田 絢乃 (埼玉県立熊谷図書館)	大川 万里 (埼玉県立熊谷図書館)

○高校図書館部会

穂積 絵理子 (埼玉県立浦和第一女子高等学校)	藺草 美奈 (埼玉県立不動岡高等学校)
会田 佳之 (埼玉県立新座総合技術高等学校)	横山 史江 (埼玉県立草加高等学校)
岩瀬 茜 (埼玉県立八潮高等学校)	平岡 英里 (埼玉県立浦和東高等学校)
中島 聡美 (埼玉県立大宮商業高等学校)	大橋 瑞穂 (埼玉県立川越高等学校)
猪鼻 しのぶ (埼玉県立川越総合高等学校)	紺谷 由紀乃 (川越市立川越高等学校)

○大学等図書館ほか

松山 匡和 (国立女性教育会館)	中村 敏男 (国際学院埼玉短期大学)
蛭田 知明 (国際学院埼玉短期大学)	川崎 愛音 (国際学院埼玉短期大学 学生)
浅子 桃佳 (国際学院埼玉短期大学 学生)	

埼玉県図書館協会・埼玉県教育委員会

藤倉 陽子 (埼玉県図書館協会会長・埼玉県久喜図書館長)
小西 康雄 (埼玉県図書館協会理事長・埼玉県熊谷図書館長)

○事務局スタッフ

(埼玉県立熊谷図書館)

川目 晴久	山縣 睦子	飯島 俊	合澤 大志
川上 未来	瀧ヶ平 裕	山田 紗弥香	青柳 拓未
久保田 崇子	小林 栞	大森 瑞姫	生方 久美

(埼玉県立久喜図書館)

松山 裕輝 佐藤 彩香

「図書館と県民のつどい 2025」の開催に御協力いただいた多くの皆様に感謝申し上げます。

図書館と県民のつどい埼玉 2025
—みんなが「図書館」でつながる日—

- 趣旨
- 1 県内図書館の様々な活動を県民に紹介することで、図書館に対する県民の理解を深め、親しみを持ってもらう
 - 2 県民との交流を通じて、より良い図書館サービスを考える契機とする
 - 3 県内の子供読書活動に携わる方々や、公共図書館・大学図書館・高校図書館等の協働により実施することで、図書館に関わる連携を深める
 - 4 県民の読書環境がより豊かなものとなるよう、書店・出版社・新聞社など文字・活字文化を支える団体と図書館との連携を図る

日時 2025年12月14日(日) 11:00~16:00

会場 桶川市民ホール・さいたま文学館

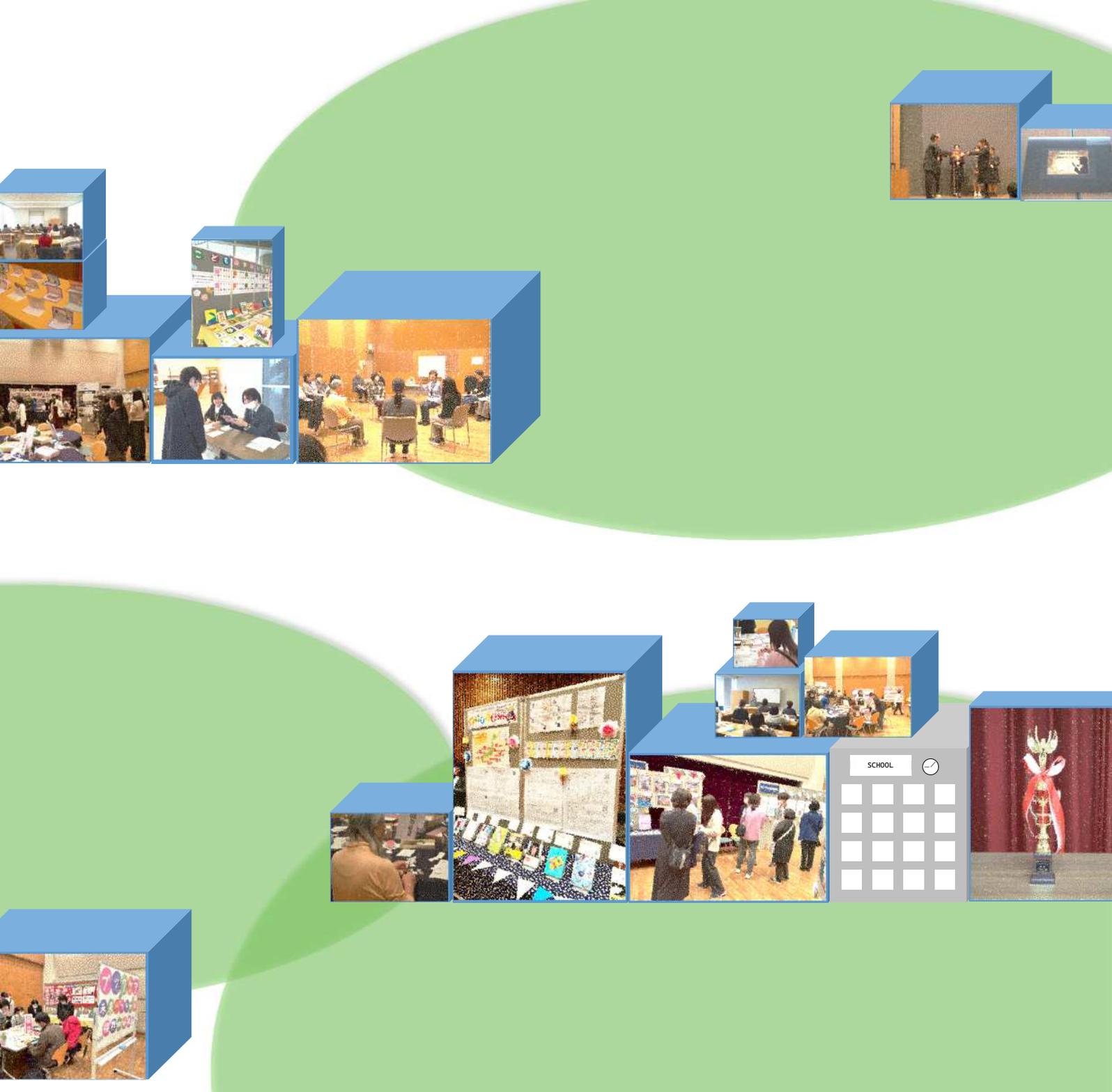
内容

- 中学生のビブリオバトル
- 展示・体験等
 - ・ブックケア=未来へつながる保存の技術=
 - ・ブックケア講座
 - ・読書のバリアフリー資料展～広がれ！読書の多様性～
 - ・謎の手紙と失われた思い出～謎解き in 図書館と県民のつどい 2025～
 - ・高校図書館 展示ツアー
 - ・A4用紙で立体オーナメントをつくろう
 - ・数字で見る高校図書館 2025
 - ・記憶と記録に残したい学校図書館
 - ・埼玉県の高校図書館司書が選んだイチオシ本 2024
 - ・巨大ポップアップポップ展示
 - ・SALA加盟図書館所蔵資料展示会
 - ・協賛企業展示
- こども読書活動交流集会
 - ・わらべうた実践講座「おはなし会でわらべうたを！～乳幼児から小学生に～」
講師 吉田 優子 氏・平田 潤子 氏
 - ・学校図書館講座「多様な子どもたちへの読書支援～特別支援学級での取り組みを中心に～」
講師 吉井 嘉奈子 氏
事例発表 村上 勅江 氏

主催 埼玉県図書館協会、埼玉県教育委員会、埼玉県学校図書館協議会、
埼玉県高等学校図書館研究会

- 共催 さいたま文学館
- 後援 桶川市、桶川市教育委員会
NHKさいたま放送局、FM NACK5、テレ玉
公益財団法人 日本教育公務員弘済会埼玉支部
埼玉県大学・短期大学図書館協議会（SALA）
埼玉県書店商業組合、一般財団法人 出版文化産業振興財団（JPIC）
公益財団法人 文字・活字文化推進機構
- 協力 公益財団法人 日本教育公務員弘済会埼玉支部助成事業
埼玉県芸術文化祭 2025 協賛事業
- 協賛 株式会社 伊藤伊、キハラ株式会社、埼玉新聞社、社会福祉法人 埼玉福祉会
株式会社 ポプラ社、一般社団法人 YA出版会

御来場いただきました皆様、共催・後援・協力・協賛をいただきました企業・団体の皆様、運営に御協力いただきましたボランティア並びに実行委員等の皆様に、この場を借りまして厚くお礼申し上げます。



図書館と県民のつどい埼玉 2025 記録集

令和8年3月刊行

編集・発行 埼玉県図書館協会（埼玉県立熊谷図書館内）

〒360-0014 熊谷市箱田 5-6-1 TEL 048-523-6291 FAX 048-523-6468

